

# 図書室たより



いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただきありがとうございます。

**ひらいてとじた  
笑顔がふえた**  
2023・第65回 こどもの読書週間  
4/23～5/12

子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に誕生しました。幼少の時から書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、物事を正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切な事か……。子どもに読書を勧める事だけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

てんえい図書室にも、沢山の絵本や児童書がありますので是非ご利用下さい。



## 今月のおすすめ本

【K・Sさんおすすめ】『おかあさん だいすきだよ』

みやにし たつや 作・絵/金の星社 刊



子供って、お母さん大好きですよ。今、子育て真っ最中のお母さんに（お父さんにも）読んで欲しい絵本です。お母さんの小言（私も言ってました）と、子供の本音（聞きたかった）が描かれていて、自分の子育て中を思い出し酷い母親だったなと胸が痛くなりました。忙しくて怖い顔していると、「ママ、笑って」って息子によく言われてました。私の顔をいつも可愛く描いてくれ娘たち、あの時間がどれだけ幸せな時間だったか、その時は気づかないですよ。あんなに「ママー」ってくっついてきてくれた子供たちも、あっという間に親から離れてしまうのに。読み終わってから、子供達が小さい時に嫌われるくらい、グューグューってしたかったなーって思いました。みやにしたつやさんの作品は、心に染みこみます。

◆おすすめ本を書いてみませんか！

対象は「文化の森てんえい図書室」にある本です。掲載文字数は200文字程度。掲載者にはお礼の記念品を贈呈致します。皆さまのご応募お待ちしております。



## 《新着図書》

一般書	
■ジャクソンひとり	安堂ホセ
■犬小屋アットホーム!	大山淳子
■名探偵のままていて	小西マサテル
■プリテンド・ファーザー	白岩玄
■山本周五郎 心ばえの物語集	山本周五郎
■女を書けない文豪たち	イザベラ・ディオニシオ
■ごはんを食べににおいてよ	小手鞠るい
■三谷幸喜のありふれた生活 ⑰ 未曾有の出来事	三谷幸喜
■まるい三角関係 三者三様おしゃべり三昧	清水ミチコ
■無人島のふたり 120日以上生きなくちゃ日記	山本文緒
■終わりの始まり	ソ・ユミ
■異常	エルヴェ・ル・テリエ
■医者が教える 非まじめ老後のすすめ	大塚宜夫
■やまと尼寺精進日記③ひとり生きる豊穡	NHK出版
■枯れてこそ美しく	戸田奈津子・村瀬実恵子
■三流シェフ	三國清三
■ママにはならないことにしました	チェ・ジウン
■史上最高のストレッチ	野上鉄夫
■ためこまない暮らし 日々の家仕事を新鮮に	中山あいこ
■ゆる発酵	榎本ミサ
■一年中冷え知らずごはん	ワタナベマキ
■あるものを活かして愛着のある部屋に育てる	本多さおり
■子どもの「好き」から始まる心地よい暮らし	美濃羽まゆみ
■ちいさな木彫り	川崎誠二

## 《新着図書》

一般書	
■そのままのキミがすき	きむらゆういち
■消しゴムはんこ アイデア帳	津久井智子
■彼女の家計簿	原田ひ香
■DRYドライ	原田ひ香
■みおつくし料理帖 花だより	高田郁
■はなごよみく草花>時代小説傑作選	中嶋要ほか
■エミリの小さな包丁	森沢明夫
■大事なことほど小声でささやく	森沢明夫
えほん・児童書	
■大きな大きな大きな足あと	ロブとトム・シアーズ
■この計画はひみつです	ジョナ・ウィンター
■そらのゆうびんやさん	くまくら珠美
■パンどろぼう おにぎりぼうやのたびだち	柴田ケイコ
■おかしなどうぶつえんさわってたのしいレリーブック	小学館
■すいどう	百木一朗
■どこ?ほんのなかのさがしもの	山形明美
■交通安全大王	よしながこうたく
■二番目の悪者	林木林
■みんなに好かれなくていい	和田秀樹
■目が見えない耳もきこえないでもぼくは笑ってる	佐々木志穂美
■牧野富太郎 植物の神様といわれた男	横山充男

